

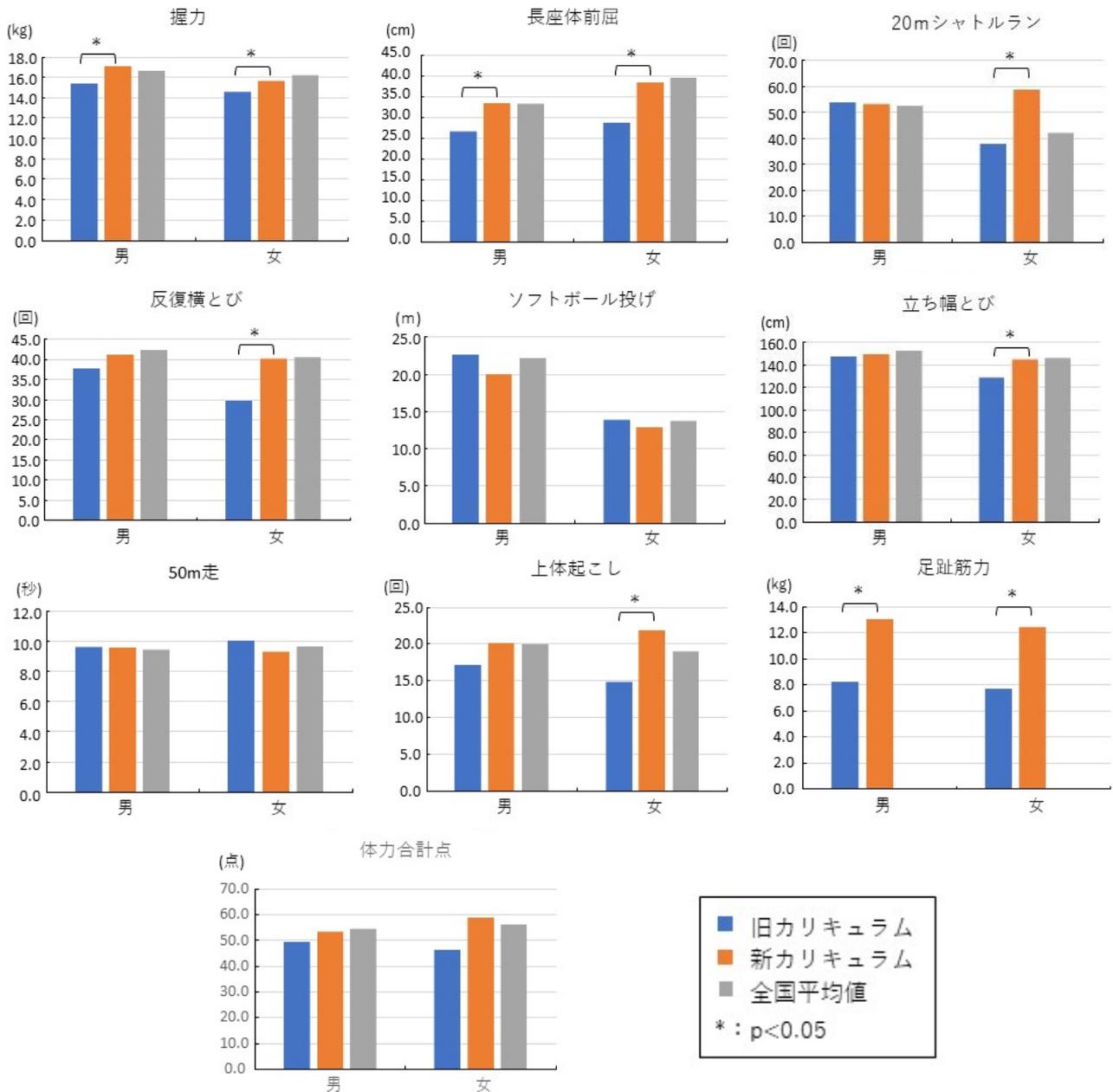
## 体育授業での新カリキュラムと旧カリキュラムの違い

2014 年度に新カリキュラムを始動しました。新カリキュラムは、2014 年度の現状を把握する事から始め、基礎的な運動能力の向上を目的とし、運動領域と運動特性を踏まえて日常生活における、運動やスポーツ活動に効果的なものにしました。

この新カリキュラムで育った 2018 年の5年生と、旧カリキュラム(文部科学省の学習指導要領に基づいた従来の体育カリキュラム)時の5年生、及び全国平均値(17 年度)の5年生の平均値を比較してみました。(右のグラフ参照) 全体的に、全国平均に近づいてきました。まだ全国平均には達していないものもありますが、「動きを持続する能力(20m シャトルラン)」「すばやさ(反復横とび)」「体の柔らかさ(長座体前屈)」「力強さ(握力、上体起こし)」「タイミングの良さ(立ち幅とび)」については向上しており、「巧緻性」を一番必要とする「投げる(ソフトボール投げ)」が向上していないことを踏まえて、次回のカリキュラム変更に活かしていこうと考えております。

体力と知能が関係する事は、世界的に知られており、運動をすると海馬、脳の「白質」と呼ばれる部位の機能も強化されることが最近の研究で判明しています。子どもが毎日 15 分遊べば、集中力が上がり、学力にプラスになり、そして健康な身体でいることもできます。健康で、長生きできる大人になるためにも、体力は必要であると思います。子どもたちの体力が、少しでも up 出来るように今後も指導していきます。

新カリキュラムと旧カリキュラムの違い



※「足趾筋力」は、安定立位姿勢の保持や歩行時の蹴り出しに関与しているものです。また、足趾筋力は体格及び、走、跳、投の基礎運動能力と関係が認められており、子ども達の体力・運動能力の向上において、足趾筋力が重要な役割を果たすことが研究されています。

※「\*:p<0.05」というのは、t 検定をしているということで、平均の差の検定をしています。「\*」がついているところは、とても差が大きいという意味です。